

第 2 学年課題研究 <文型>

教員用 授業の流れ

1. 授業実施場所

- 国際・ESD → 2-4 教室
- 人文科学 → 2-2 教室
- 社会科学スポーツ科学 → 2-1 教室
- 自然科学 → 2-3 教室

2. 生徒の持ち物

課題研究メソッド、課題研究ノート、参考文献（忘れたものは昼休みに図書館で借りる）

3. 教員の用意するもの

前回のキーワードマッピング用紙 (A3)、付箋、ペン

4. 授業展開例

時間	学習内容	教員の指導・留意点
導入	○授業前に内容ごとに各教室に移動する。	○机の上に、課題研究ノート、参考文献、筆記用具があることを確認する。
15:20 ～	○～前回の続き～ ○前回のグループになる。 ○キーワードマッピングがまだのグループはキーワードマッピングを完成させる。 (A3 用紙でやったキーワードマッピングを課題研究ノート P7 に縮小して貼り付けるようにする。すでに記入を始めている生徒はその限りではない。)	○机間指導しながら、早いグループは先へ進むよう指導する。
遅くとも 15:40 ～	○『研究テーマを決める』課題研究ノート P8 下 をかく。(課題研究メソッド P47 参照) ○リサーチクエスションの設定を行う。 (課題研究ノート P12 課題研究メソッド P52, P53 参照) ○『仮説の設定と検証』を記入する。(課題研究ノート P15 課題研究メソッド P65 参照) ○早いグループは『研究計画書の作成』を始める。(課題研究ノート P24~P25)	○すでに前回から書き始めているグループもある。 ○課題研究ノート P12 は書けないところは書かなくてよいが、なるべく深く探究できるようリサーチクエスションを設定させたい。 ○進捗状況がグループによって違ってもよい。「研究計画書の作成」に入るグループがあってもよい。
16:08	次回(5 月 22 日)の予告『研究計画書の作成』が中心になることを伝える。文献を調べ、持参することを伝える。	